

大特集

# なぜ、川勝知事は闘うのか？

# 7つの謎を巡る旅

大井川源流部、西俣川。  
南アルプストンネルは直下約400mを通過する



2011年3月11日東日本大震災は日本へ壊滅的な大打撃を与えた。

その2カ月後に、国は「リニア中央新幹線」整備計画を決定、

南アルプス(8.9キロ)を通過する「直線ルート」を採用した。

40年前に始まったリニア計画は、当初から、

静岡県は関係ないと「期成同盟会」への参加などすべてを除外してきた。

「直線ルート」採用で、静岡県に新駅はできないが、沿線自治体になった。

問題なのは、南アルプスの地下約4百メートルでトンネル工事が始まると、

静岡県の自然環境を大きく損なう可能性が出てきたことだ。

川勝平太知事は、大井川中下流域の人たちの「水環境が損なわれる」という不安の声に、

利水者の代表としてトンネル工事着手に慎重の姿勢を崩さない。

JR東海、国、愛知県などの沿線自治体は2027年開業を目指して、

さまざまに攻勢を強める。それでも川勝知事は一歩も引かない。

これは、まさしく静岡県の自然環境を守る「闘い」である。

## 南アルプス

赤石山脈の通称。南アルプストンネル(25キロ)は山梨県早川町の7.7キロ、長野県大鹿村の8.4キロ、そして、静岡県は大井川源流部の静岡市葵区8.9キロに建設される。